

発議案第 13 号

上越地域医療センター病院の早期建設を求める決議について

上越地域医療センター病院の早期建設を求め、別紙のとおり決議するものとする。

令和 6 年 12 月 18 日

提出者	上越市議会議員	本 城 文 夫
賛成者	同	伊 崎 博 幸
同	同	宮 越 馨
同	同	小 林 和 孝
同	同	平良木 哲 也
同	同	滝 沢 一 成

上越地域医療センター病院の早期建設を求める決議

上越地域医療センター病院は、上越市民、特に高田地域の市民にとって、旧国立病院の時代から、南高田の地になくってはならない命と健康の拠り所として頼りにされてきました。

その後、施設の老朽化や、医療技術の発展に伴う最新設備設置の不都合などから、一刻も早い新病院の建設が求められる中、平成30年には「上越地域医療センター病院基本構想」、令和2年には「同基本計画」が発表され、また現在地での建設が決まり、今年度予算では基本設計の費用も計上される予定でした。

ところが、今議会において市は突然、病院の財政環境が極めて厳しくなっていることから、「地域医療構想の議論も進捗せず、国県の補助金なども確実に見込めない

ので、現時点では改築には着手できないと判断した」と発表しました。

このことは、現在地での早期建設を悲願にしてきた多くの市民にとって寝耳に水の発表であり、地元住民のみならず、新病院に期待しているすべての市民に失望感を与えたことは否めない現実です。

市は、今後2年程度で医療を取り巻く国の政策が好転するのではないかというように述べていますが、この希望は必ずしも叶えられるものではありません。

また、老朽化した病院での診療を続けることは、受診する市民の利便性に支障をきたしかねないだけでなく、日頃市民の健康維持のために懸命に奮闘している医師、看護師をはじめとした病院スタッフのモチベーションの喪失にもつながりかねません。

ついては、市として、一刻も早く基本設計に着手し、早期建設に資することを求めます。

以上、決議します。

令和6年12月18日

上 越 市 議 会